



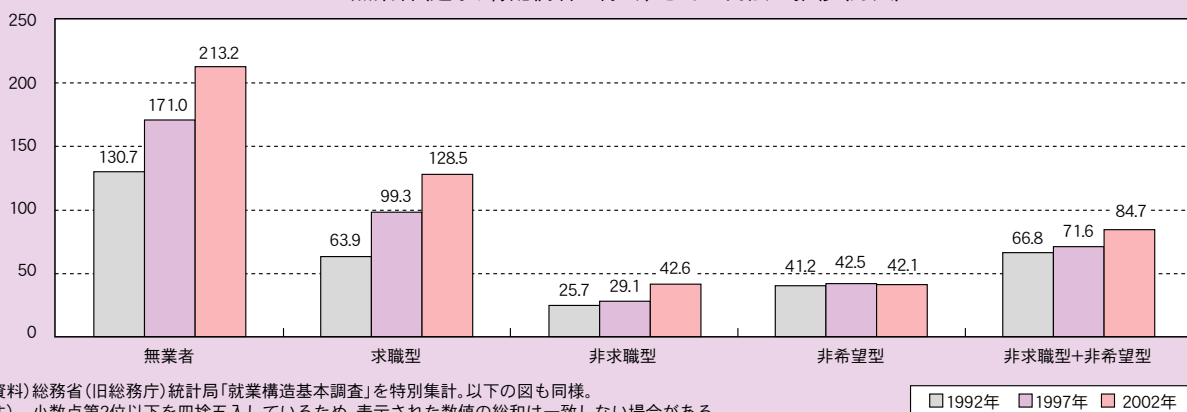
筆者紹介

武蔵野大学人間関係学部教授、精神科医、医学博士、臨床心理士。

著書に「おしゃべり心理学」「トラウマの心理学」「ドメスティック・バイオレンス」「犯罪被害者遺族―トラウマとサポート」「犯罪被害者の心の傷」など多数。

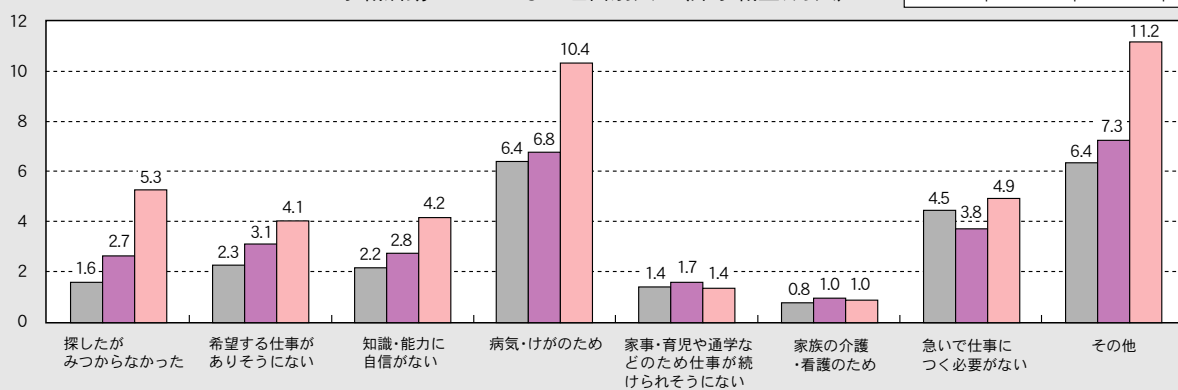
うである。そういう人たちの長期的な精神健康が一般的に言っているあまり良好なものになりそうもないことは容易に想像できる。またその群の中では比較的高い年齢層に属すると思われる団塊ジュニアの世代は、今やかなり厳しい現実に直面するところに来ているのではないだろうか。

無業者(通学、有配偶者を除く)とその内訳の推移(万人)



資料) 総務省(旧総務庁)統計局「就業構造基本調査」を特別集計。以下の図も同様。
注) 小数点第2位以下を四捨五入しているため、表示された数値の総和は一致しない場合がある。

求職活動をしていない理由別人口(非求職型、万人)



無業者とその類型についての定義

呼称	定義	就業構造基本調査の調査項目との関連
無業者 (通学、有配偶者を除く)	高校や大学などに通学しておらず、独身であり、ふだん収入になる仕事をしていない、15歳以上35歳未満の個人(予備校や専門学校などに通学している場合も除く)	15歳以上35歳未満のうち、「配偶者なし」であり、教育について「在学中」を除き、「ふだん何か収入になる仕事をしていますか」に「仕事をしていない」を選んだ個人。ただし仕事をしていない理由として「通学している」は除く。
求職型	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、就業希望を表明し、求職活動をしている個人	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、「何か収入になる仕事をしたいと思っていますか」に「思っている」を選び、「その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか」に「探している」もしくは「開業の準備をしている」を選んだ個人。
非求職型	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、就業希望を表明しながら、求職活動はしていない個人	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、「何か収入になる仕事をしたいと思っていますか」に「思っている」を選び、「その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか」には「何もしていない」を選んだ個人。
非希望型	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、就業希望を表明していない個人	無業者(通学、有配偶者を除く)のうち、「何か収入になる仕事をしたいと思っていますか」に「思っていない」を選んだ個人。

注)「無業者(通学、有配偶者を除く)」において、「何か収入になる仕事をしたいと思っていますか」あるいは「その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか」が不詳のものは除く。ちなみに2002年において、「何か収入になる仕事をしたいと思っていますか」あるいは「その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか」が不詳のものは、約15.2千人(約0.7%)である。

資料出所:内閣府(若年無業者に関する調査(中間報告)より)